

社会福祉法人容雅会 令和3年度事業報告

令和3年度は社会福祉法人容雅会として「明るく笑顔で、変化の波に乗り続ける施設へ」を掲げ、社会の様々な変化の波に呑み込まれてしまうことなく、運営をして参りました。

また、未だ終わりの見えない新型コロナウイルスや介護報酬改定という波にもまれながらも、基本理念の「その人らしさを守ること」を忘れることなく、既存・新規の事業を通して、下記の4つの軸を元に利用者様や地域の皆様、職員に対して信頼される施設づくりに努めました。

① 利用者様、ご家族様に対して

- ・ 基本的人権の尊重
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の周知徹底、協力依頼
(面会制限、オンライン面会の利用、短期入所・通所の利用条件など)
- ・ 一人ひとりに寄り添った個別ケアに対する質の向上
- ・ ご家族様への適時適切な説明とコミュニケーションの促進

② 地域の皆様に対して

- ・ 公益的取り組みの推進
- ・ 地域の皆様にとって有用な情報の発信 (医療・福祉、防災など)
- ・ 新型コロナウイルス対策の周知徹底

③ 職員に対して

- ・ 新型コロナウイルス対策の周知徹底
- ・ 明るく楽しい職場環境作り
- ・ 科学的介護情報システム「LIFE」運用開始に伴う教育の充実
「L I F E」=Long-term care Information system For Evidence
- ・ ケアの質の向上や均一化に伴う教育、研修の充実
- ・ 新型コロナウイルス対策に伴うオンライン研修環境の充実
- ・ 職員の処遇向上
- ・ 介護ロボット活用等による業務の効率化、負担の軽減

④ 各事業 (特養・短期入所・通所・居宅介護支援事業所) に対して

- ・ 稼働率の向上
- ・ 科学的介護情報システム「LIFE」の運用
- ・ 介護報酬改定対応に伴う環境整備
- ・ 企業主導型保育事業について
- ・ 外国人材の登用についての検討
- ・ 広報活動の強化

- ・各事業間の連携強化
- ・業務継続計画（BCP）の策定

令和3年度の4つの軸（①利用者様、ご家族様②地域の皆様③職員④各事業）に共通する大きな反省点のひとつは、令和4年2月にショートステイにて発生した新型コロナウイルス感染症のクラスターです。令和2年度から新型コロナウイルス感染症対策を徹底して施設全体で取り組んで参りましたが、2月に21名に及ぶクラスターが発生し、収束までに20日程度を要してしまいました。その間の施設に携わる利用者様はじめご家族様、職員、地域の皆様にかけたご心配、その後の施設運営に及ぼした影響は計り知れないものがあります。

その後、ショートステイで利用者様1名、また職員の発症などもありましたが、各部署職員連携のもと、他者へ感染することなく収まっております。

今後も感染対策を周知徹底し、より一層のまん延防止に努めて参ります。

① 利用者様、ご家族様に対しては、感染対策の観点から令和3年度も、対面による面会ではなくオンライン面会が主となりました。補助金等を活用し、既存の機器類の他に面会用のパソコンを購入するなど、ご家族様の満足度の向上を目指しました。また、ホームページを新しくする等 SNS を活用し、日々の施設内の様子がご家族様にも伝わるようにしております。今後、感染動向に合わせて、面会や利用者様の外出など利用者様の処遇に関しても検討、実行を重ねて参ります。また今年度、言語聴覚士の採用を行ったことで、口腔面でのケアの取り組みを強化できました。歯科衛生士、管理栄養士と共に今後もケアの充実を目指します。

② 地域の皆様に対しては、令和3年度もオレンジカフェ（認知症カフェ）や初任者研修、シルバーリハビリ体操などへの会場提供が感染対策によりほぼ実施できませんでした。しかしながら感染状況を見つつ、施設外の公共施設にてオレンジカフェを開催した時の、参加者の方々の感想や表情から、コロナ禍だからこそその事業の必要性、重要性というものをより一層強く感じました。次年度の事業として継続していきたいと考えます。

③ 職員に対しては、新型コロナウイルス感染症まん延により、家族や本人が濃厚接触者となり休業する者が多く、少ない人数で業務に携わる状況が続きました。そのため業務の効率化や負担軽減を目指して、超音波センサー等を購入、活用しております。また現在、職員の新規採用が厳しい状況が続いているため、積極的な面談等により退職者を少しでも減らす努力を続けております。

※令和3年度入職者19名、退職者15名（令和2年度入職者21名、退職者21名）

また、介護職員処遇改善支援補助金でベースアップ等を行い、職員の処遇の改善を行っております。令和3年度は新たに介護福祉士に4名が合格し、合格者には合格祝い金として一人5万円を支給するなど、資格取得の意欲向上に努めております。これにより全介護職62名中、介護福祉士30名、介護職員初任者研修・ヘルパー2級28名、無資格者4名（内1名は看護師資格保有）となり、入職時は無資格のパート職員が介護福祉士資格保有の正職員となるなど職員の資質の向上が見られています。今後も初任者研修の開催等を通じて無資格者に資格取得を促して参ります。

④ 各事業については、今年度は明確な稼働目標のもとに各事業が営業ツールなどを用いて、営業活動を行って参りました。その結果、特養 目標 95%→結果 96. 17%、ショートステイ 目標 63. 33%→結果 67. 37%、デイサービス 目標 42. 75%→結果 39. 37%、居宅 目標 110. 9 人→結果 170. 75 人となりました。まだ見直しの必要な事業もありますが、今後営業方法等を精査し、次年度の更なる稼働率の向上へつなげたいと考えます。また、事業間連携としては居宅介護支援事業所から自施設への紹介率の高まりや、ショートステイとデイサービスを併用する利用者様の情報共有、ショートステイ利用者様の特養への入居など併設事業所の利点を活かせるようになっております。また、今期新しくおおはら保育園の保育業務の受託できたことにより、これまで以上に職員の産後の早期職場復帰につながるなど福利厚生にも寄与できると考えます。

中村病院との連携に関しても、要介護 4, 5 の方が令和 2 年度 60 名から令和 3 年度 63 名となり重度化していること、入居者様の平均年齢が 86. 36 歳となり、100 歳超の入居者様が 5 名となったことから、受診や入退院の調整などの連携を密にして、利用者様、ご家族様、職員の心理的また身体的な負担の軽減につなげたいと考えます。また、今後は経管栄養や透析の方などの受け入れや施設での看取りを希望される方の増加が予想されますので、医療との連携の強さを地域の皆様にも広報し、これまで以上に地域で必要とされる施設を目指したいと考えます。

令和 3 年度目標として「明るく笑顔で、変化の波に乗り続ける施設へ」を掲げて参りましたが、コロナ禍でも笑顔で明るく利用者様に携わる多くの職員が共に苦しい状況乗り越えてくれました。次年度も利用者様やご家族様が施設でも在宅でも安心安全にサービスの提供を受けることができるよう、そして職員が安心して働けるような環境を整備し、利用者様の「その人らしさ」を守り続けられるような支援の継続を目指します。

I 法人の運営体制

理事・監事体制

理事長 中村 雅英
理事 鈴木 智
理事 吉田 一巳
理事 小川 一夫
理事 長谷川祐一
理事 中村安佐子（常勤）
監事 山野邊元則
監事 木幡 仁一

評議員体制

評議員 赤津 隆彦
評議員 阿部 健一
評議員 門屋 博史
評議員 菊地 秀明
評議員 鈴木 重光
評議員 村田 裕之
評議員 箱崎 孝成

第三者委員会体制

委員 菊地 秀明
委員 山野邊元則

評議員専任解任委員会体制

委員 中村 秀樹
委員 山野邊元則
委員 木幡 仁一
委員 巽 龍也
委員 佐藤 孝男

業務顧問

会計顧問 渡辺公認会計士事務所 渡辺 和栄
労務顧問 あすか社会保険労務士法人 菊地 秀明

II 法人の事業

特別養護老人ホームサニーポート小名浜

- 1 特別養護老人ホーム事業 80床
- 2 短期入所生活介護事業 20床
- 3 通所介護事業 30名
- 4 居宅介護支援事業 90名
- 5 その他（施設内託児事業・企業主導型保育園受託事業）

Ⅲ 理事会・評議員会の開催

令和４年度における理事会を次のとおり開催致しました。

回	開催日	場 所	内 容
第1回	令和４年６月１日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、採用報告、令和３年度事業報告、令和３年度決算報告、令和３年度監事監査報告、ハラスメント防止に関する規程について、定款の変更について、評議員選任解任委員会の開催日時について、評議員会の開催日時について
第２回	令和４年９月２８日 (提出日)	書面による理事会の決議	外国人技能実習生受入に係る組合加入について
第３回	令和４年１２月２２日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、ミャンマーからの技能実習生受入について、土地賃借料の改定について、補正予算について、入居者の不動産寄付について
第４回	令和５年３月２３日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、採用報告、ミャンマーからの特定技能者の受入について、第２次補正予算について、次年度事業計画について、給与規定の変更について

令和４年度における評議員会を次のとおり開催致しました。

開催日	場 所	内 容
令和４年６月２３日	サニーポート小名浜	事業活動実績報告、防犯カメラシステムの取り替えに関する入札について、採用報告、次期評議員１名の選任について、令和３年度事業報告、令和３年度決算報告、令和３年度監事監査報告、ハラスメント防止に関する規程について、定款の変更について

令和４年度における評議員選任・解任委員会を次のとおり開催致しました。

開催日	場 所	内 容
令和４年６月１４日	サニーポート小名浜	評議員の選任について

令和４年度における懲罰委員会を次のとおり開催致しました。

開催日	場 所	内 容
令和４年９月８日	サニーポート小名浜	介護職員の不適切な介助について

Ⅳ 役員の研修

令和４年度の役員研修につきましては、９月から１１月の間、福島県社会福祉協議会主催のオンライン研修等が開催されましたがコロナ禍等により参加致しませんでした。

Ⅴ 職員の推移

職員の退職者数は、開設年度が最も多く、離職率が２６．７パーセントで、その後離職率が１０数パーセント台まで低下しておりましたが、令和４年度は、２３．６パーセントと、やや上昇しました。

全体の退職者数は、２６名でしたが、入職後、１箇月前後での退職者３名、６箇月前後での退職者４名と早期退職者が７名と多かった事が離職率の増加原因でした。

職員の退職者により各部署における欠員が生じていることから有料人材紹介の利用が多くなっております。求人活動におきましては、ハローワーク小名浜、福島県社会福祉協議会、ふくしま生活・就職応援センターや福祉系の専門学校、大学に求人票の提出をするとともに、福島県労働局等主催の就職説明会に参加、更に、いわき市内の各高等学校等の進路指導教諭から求職情報を得て、採用活動を行っております。令和５年度の新卒採用予定者数につきましては高卒２名、専門学校卒・大卒で１名と致しました。年間を通じ、学校訪問の回数を多くして進路指導教諭と面会の上、求職者情報を得て新卒の採用に鋭意取り組んでいきたいと考えております。

各部署配置人員（全職員名）

管理職	事 務	相 談	居宅介護	機能訓練	看 護	保 育	栄 養
２	４	２	６	４	１３（４）	８（５）	２
用務運転等	渚（短期）	潮（特養）	湊（特養）	旭（特養）	岬（特養）	通 所	歯科衛生
１０（１０）	９（１）	１０（４）	９（３）	１４（６）	９（２）	７（４）	１

※数字は総人員 （ ）内数はパート数

各部署離職率

管理職	事 務	相 談	居宅介護	機能訓練	看 護	保 育	栄 養
１（０．９％）	０	３（２．７％）	１（０．９％）	１（０．９％）	３（２．７％）	２（１．８％）	０
用務運転等	渚（短期）	潮（特養）	湊（特養）	旭（特養）	岬（特養）	通 所	歯科衛生
１（０．９％）	３（２．７％）	２（１．８％）	２（１．８％）	０	６（５．４％）	１（０．９％）	０

※数字は、離職者数（％）は、全体に対する離職率

※１人に対して０．９％（離職率２３．６％÷離職者数２６人）

全体離職率

令和４年度末職員数	１１０名
令和４年度離職者数	２６名
離職率	２３．６％

全体職員の推移

	採用者数	離職者数	年度末在職者数	離職率
平成27年度	52	27	101	26.7%
平成28年度	29	26	104	25.0%
平成29年度	27	21	110	19.0%
平成30年度	18	20	108	18.5%
令和元年度	17	19	106	17.9%
令和2年度	21	21	106	19.8%
令和3年度	19	15	110	13.6%
令和4年度	26	26	110	23.6%

Ⅵ 各事業別報告

●特別養護老人ホームサニーポート小名浜

令和3年度に於きましては、前年度の課題であった稼働率管理や入居生活上の処遇改善について取り組んでまいりました。

入居稼働率は令和2年度92.9%に対して入院日数の把握、空床期間の短縮対策として入居前の検診やケアマネージャー等との連携をとることにより、96.3%と3.4%の改善を行うことが出来ました。

入居生活上の処遇改善として、オンライン面会の強化と買い物等の生活の中の楽しみを中心に行いました。オンライン面会の強化として、専用のパソコンによる大きな画面での面会や機械操作の苦手な方に対して施設でのオンライン面会の実施、オンライン面会だからこそ出来る遠方のご家族との面会の提案を行いました。また定期的な施設内での買い物イベントの開催や各ユニット内で出来る行事や食事レクリエーション、個別の施設外周の散歩等を行うことで、メリハリのある入居生活を目標に改善を行いました。サービス面では食事への取り組みとして従来の管理栄養士と歯科衛生士に加えて言語聴覚士の採用を行い、出来るだけ口からの食事が出来るように、その後、口から食べられなくなった時の適切なケアの充実等を図りました。

入居者の平均要介護度は、令和2年度4.08に対して令和3年度は、4.14でありました。

入退所の面では、昨年度につづき虐待等による行政措置や特例入所があり、福祉目的入居へのきめ細かな対応が求められました。

今後の課題としまして、コロナウイルス蔓延下での入居生活の処遇改善も含めて、ご家族との交流のあり方、看取り介護時の柔軟な対応のあり方等についての検証と検討また、入居稼働率の改善が必要とされます。

令和3年度特別養護老人ホーム稼働率推移（%）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均
98.0	97.0	96.1	94.8	96.3	97.4	96.6

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
95.1	93.6	91.0	96.0	99.5	100.4

下期平均	年間平均
95.9	96.3

令和 3 年度特別養護老人ホーム入居者数実績（人）

上期	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
要介護 1	1	1	1	1	1	1
要介護 2	1	1	1	1	1	1
要介護 3	19	19	18	18	20	20
要介護 4	25	26	25	25	26	25
要介護 5	34	33	33	33	33	33
在籍計	80	80	78	78	81	80

入院：延日数	81	71	45	95	95	71
外泊：延日数	0	0	0	0	0	0

下期	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要介護 1	1	1	1	1	1	1	12
要介護 2	1	1	1	1	1	1	12
要介護 3	20	17	16	15	17	16	215
要介護 4	27	28	29	30	32	32	330
要介護 5	32	30	30	31	30	31	383
在籍計	81	77	77	78	81	81	952
入院：延日数	113	131	143	31	15	24	915
外泊：延日数	0	0	7	6	0	0	13

平均／月
1
1
17.9
27.5
31.9
79.33
76.25
1.08

令和 4 年 3 月 31 日現在入居者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要介護 1	0	1	1
要介護 2	0	1	1
要介護 3	4	11	15
要介護 4	5	26	31
要介護 5	9	22	31
合計	18	61	79

令和 4 年 3 月 31 日現在入居者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要介護 1	－	91.0	91.00
要介護 2	－	87.0	87.00

要介護 3	84.0	89.1	86.55
要介護 4	81.4	89.0	85.20
要介護 5	78.1	86.0	82.65
平均	81.16	88.42	86.36

令和 4 年 3 月 31 日現在入居者介護度別市町村状況（人）

市町村名	いわき市		浪江町		富岡町		大熊町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護 1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護 2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護 3	4	11	0	0	0	0	0	0	4	11
要介護 4	4	25	0	1	1	0	0	0	5	26
要介護 5	9	20	0	0	0	1	0	1	9	22
小計	17	58	0	1	1	1	0	1	18	61
合計	75		1		2		1		79	

●短期入所生活介護事業所サニーポート小名浜

令和 3 年度に於きましては、新型コロナウイルス感染症の影響で令和 2 年度 55.8%に対して令和 3 年度は 67.9%と大きく稼働率が改善いたしました。

特に地域の福祉の充実として地域包括支援センターや各地区福祉センターからの虐待ケースなどの利用や新型コロナウイルス感染症蔓延下においても従来通りのショートステイサービスの提供を行うことが出来るなどの内容を各事業所等に啓発を再度行いました。

今後の課題として、コロナウイルスの蔓延によりサービス提供中のレクリエーションのあり方、令和 4 年 2 月に利用者・職員合計 21 名のクラスター感染の発生により稼働率が 20%程度低下するなどの稼働率の維持等の改善が更に必要であります。

令和 3 年度短期入所生活介護事業所稼働率推移(%)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上期平均	
53.33	53.87	58.83	71.77	72.42	65.33	62.59	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下期平均	年間平均
65.48	70.64	75.81	88.55	71.43	66.94	73.14	67.87

令和 3 年度短期入所生活介護事業所利用者数実績（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要支援 1		1				1			1	1			4

要支援 2					1	1	2	3	2	1			10
要介護 1	9	7	5	7	6	5	3	5	8	5	1	4	65
要介護 2	6	6	6	4	6	4	6	7	9	7	5	6	72
要介護 3	12	10	11	11	12	12	10	15	17	17	10	9	146
要介護 4	3	4	6	8	7	7	9	10	9	10	4	4	81
要介護 5	6	5	4	5	5	3	3	3	2	4	5	7	52
合計	36	33	32	35	37	33	33	43	48	45	25	30	430

令和 4 年 3 月 31 日現在利用者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	1	1
要介護 1	3	11	14
要介護 2	2	14	14
要介護 3	10	12	22
要介護 4	8	8	16
要介護 5	2	6	8
合計	25	50	75

令和 4 年 3 月 31 日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	93.0	93.0
要介護 1	91.6	88.1	89.8
要介護 2	81.0	83.6	82.3
要介護 3	84.7	86.6	85.6
要介護 4	80.2	88.6	84.4
要介護 5	87.0	82.0	84.5
平均	84.9	86.9	85.9

●通所介護事業所サニーポート小名浜

令和 3 年度に於きましては、平均稼働率令和 2 年度 38.2%に対して 39.4%と維持に終わりました。新型コロナウイルス感染症による利用者の利用控えは足かけ 3 年目となり、対策として利用者サービスの向上としてリハビリとレクリエーションの充実を図りました。リハビリでは、日常生活を想定した複数の動きに対するサーキットトレーニングのように体系的に行える工夫や、楽しくリハビリに向かえる工夫として低周波治療器の導入などを行いました。レクリエーションの充実として、多様な個別のレクリエーションメニューの導入を行いました。また、利用の啓発としてデイサービスの広報誌

を作成し配布するなどの活動を行いました但結果には繋がりませんでした。

今後の課題と致しまして、啓発活動の改善、また利用者が安心して利用できる感染症対策の再確認等を行うことによる利用者の獲得が挙げられます。

令和 3 年度通所介護事業所稼働率推移 (%)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上期平均	年間平均
33.1	35.4	36.5	34.9	35.0	39.7	35.8	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下期平均	年間平均
45.8	47.8	45.3	41.2	37.9	39.6	42.9	39.4

令和 3 年度通所介護事業所利用者数実績

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数
要支援 1	1	4	1	4	1	5	1	4	1	5	1	4
要支援 2	2	12	2	12	2	13	2	13	2	14	2	12
要介護 1	10	70	12	82	11	79	10	79	11	73	10	84
要介護 2	9	66	10	73	10	78	11	87	12	72	12	98
要介護 3	7	76	7	78	8	83	8	76	9	77	9	88
要介護 4	3	24	3	22	2	22	3	22	4	31	4	24
要介護 5	2	6	2	5	2	5	1	2	1	1	0	0
合計	34	258	37	276	36	285	36	283	40	273	38	310

	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合計
	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	延 人数
要支援 1	1	4	1	5	1	4	1	4	1	4	1	5	52
要支援 2	2	13	3	16	3	16	3	14	3	10	3	14	159
要介護 1	11	94	12	96	11	92	11	74	10	60	8	62	945
要介護 2	16	129	15	131	12	112	13	104	12	76	10	86	1112
要介護 3	11	89	11	91	11	109	9	89	11	80	10	100	1036
要介護 4	4	28	4	29	5	23	4	18	5	36	5	41	320
要介護 5	0	0	1	5	1	11	2	6	1	7	2	13	61
合計	45	357	47	373	44	367	43	309	43	273	39	321	3685

令和 4 年 3 月 31 日現在利用者介護度別状況 (人)

性別	男性	女性	合計
要支援 1	2	0	2

要支援 2	0	3	3
要介護 1	3	8	11
要介護 2	6	5	11
要介護 3	7	9	16
要介護 4	4	1	5
要介護 5	2	0	2
合計	24	26	50

令和 4 年 3 月 31 日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援 1	71.5	0	71.5
要支援 2	0	88.0	88.0
要介護 1	87.0	85.5	86.2
要介護 2	81.0	88.8	84.9
要介護 3	82.1	85.8	83.9
要介護 4	80.0	92.0	86.0
要介護 5	87.5	0	87.5
平均	81.5	88.0	84.7

●居宅介護支援事業所サニーポート小名浜

令和 3 年度に於きましては、月平均で前年度 118.4 人より 18.1 人減となり、100.3 人の給付管理を行いました。これは、令和 2 年 9 月より開設した内郷事業所の開設に伴い 1 人が移籍したことに伴う定員の減少によるものです。

ケアマネージャー 1 人の平均受け持ち件数は、前年度 30.0 人から 3.9 人増の 33.9 人になっております。事業所内における事例検討等の場を充実させることで、利用者一人一人のニーズを多方面から検討できる体制を構築致しました。

今後の課題と致しまして、地域の相談窓口機能の充実として、定期開催が出来ていない認知症カフェの開催等、地域との繋がりについての検討が必要であります。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
給付管理利用者数	80	80	79	83	79	78
予防給付管理利用者数	22	21	20	19	19	19
合計	102	101	99	102	98	97
契約者数	106	107	105	104	102	101

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
給付管理利用者数	83	79	83	81	81	86	972

予防給付管理利用者数	18	19	19	19	18	19	232
合計	101	98	102	100	99	105	1204
契約者数	104	103	105	106	107	104	1254

●居宅介護支援事業所サニーポート小名浜内郷事業所

令和３年度に於きましては、月平均で、70.41人の給付管理を行いました。10月1日よりケアマネージャーを1人増員し4人体制で運営を行い、ケアマネージャー1人の平均受け持ち件数は17.6人になっております。

今後の課題と致しまして、利用者数・ケアマネージャーの受け持ち件数ともに、まだまだ増加の必要があります。このためには、地域の福祉ニーズに対応できるように地域包括支援センターや行政・地域の医療機関等に対して積極的な利用周知と、連携が出来る体制の構築等を行って参ります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付管理利用者数	44	44	38	39	41	41
予防給付管理利用者数	15	14	15	14	14	13
合計	59	58	53	53	55	54
契約者数	59	61	57	58	56	55

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理利用者数	43	79	79	76	74	76	674
予防給付管理利用者数	13	13	14	16	15	15	171
合計	56	92	93	92	89	91	845
契約者数	59	92	93	94	93	93	870

●公益的な取り組みについて

令和３年度に於きましても新型コロナウイルス感染症により多くの事業が中止及び延期が続いております。特に定期開催しておりました認知症カフェや介護職員初任者研修が開催できていない状況であります。

今後の課題として、コロナ禍においても地域との連携が出来る体制の構築が必要であります。